

みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

公益財団法人 日本盲導犬協会  
発行人 金高雅仁  
223-0056 横浜市港北区  
新吉田町6001-9  
TEL.045-590-1595  
FAX.045-590-1599  
<https://www.moudouken.net/>



# 盲導犬くらぶ

## 盲導犬育成にさらなる弾みを

生まれ変わった  
犬舎

医療・繁殖棟には  
バルコニーも

# 神奈川訓練センターが リニューアル

快適な犬舎で  
犬たちも  
リラックス

『盲導犬くらぶ』でお伝えしてきた神奈川訓練センターの増改築が、昨年11月、無事に完了しました。医療・繁殖棟(写真上の右側)には、新たな屋内トレーニングルームや日当たりの良いバルコニー。犬や人が集う憩いの場所にもなっています。明るく開放的な犬舎内(写真下)では、犬たちが人とリラックスして過ごせるよう、家庭的な環境づくりを心がけています(3ページに関連記事を掲載)

# TOPICS!

主なできごとの中からピックアップ

## 富士ハーネス「盲導犬新ユニット出発式」 共に歩む日々の喜びを伝える

12月10日、富士ハーネスで「盲導犬新ユニット出発式」を開催。2024年度に新たに誕生した6ユニットと支援者が一堂に会し、門出を祝いました。

盲導犬ユーザーのスピーチでは「盲導犬を通じてボランティアとの交流ができ、家族のように思える存在が増えた」「風を切って歩けるようになり、走りたい気持ちが芽生えてマラソンを始めた」など、行動や交流の広がりを喜ぶコメントが。また「心の中にアンカー（いかり）が下ろされたように、精神面の安定を感じる」「最初は歩くのが怖かったが、今は体の力を抜いて楽しく歩けるようになった」と心境の変化も語られました。



ユーザーがパートナーの盲導犬を紹介する場面では「(この犬を)かわいと思う人は？」という問いかけに会場全体が拍手で答えたり、「うれしいときは扇風機のようにしっぽを回すところがかわいい」とほほえましいエピソードも。訓練士は「会場での盲導犬のリラックスした様子から、大切にされていることが伝わってくる」とコメントしました。

出発式は、直接話す機会が少ないユーザーと支援者の貴重な交流の場でもあります。支援者がユーザーに声をかけて記念写真を撮るなど、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

◀2024年度に新たな門出を迎えた6ユニット。ユーザーと盲導犬の穏やかな表情から、いい関係性がうかがえます

### 日本盲導犬協会の歩み

- 10月16日 ..... 第7回常任理事会
- 10月29日 ..... 第2回理事会・第2回評議員会合同会
- 11月13日 ..... 第8回常任理事会
- 11月29日 ..... 盲導犬慰霊式
- 12月10日 ..... 富士ハーネス「盲導犬新ユニット出発式」
- 12月15日 ..... 第9回常任理事会

▶10月16～18日 東京都墨田区で視覚障害者向け総合イベント「サイトワールド」が開催されました。協会は盲導犬歩行の体験ブースを出展しました



▶11月6日、12月1日 JR仙台駅で「見えない・見えにくい方の安全な鉄道利用のための歩行講習会」を開催。東日本旅客鉄道株式会社の協力のもと、19人が参加しました



▶11月29日 協会の盲導犬慰霊式を開催。ユーザーやボランティアが仙台訓練センター、富士ハーネス、島根あさひ訓練センターに集まり、昨年亡くなった50頭の犬たちの思い出を語り合いました



#### メディア掲載件数

テレビ・ラジオ	26回
新聞	23回
WEB	138回
その他(雑誌など)	23回

#### 主な放送・掲載

- 10月6日..... RSK山陽放送テレビ1局、WEB11件、その他1件 岡山市南区の灘崎小学校で開催した「盲導犬学校キャラバン」を紹介
- 10月15日..... テーラー東北他WEB2件 青森県の三戸小学校で開催した「盲導犬学校キャラバン」で児童が視覚障害や盲導犬への理解を深めたと掲載
- 10月17-18日..... TBSテレビ「Nスタ」、WEB3件 音響式信号機を紹介。ユーザーが出演した他、職員のコメンも紹介された
- 10月27-28日..... 文化放送「大竹まことゴールデンラジオ！」ユーザー2人の人生を、パーソナリティの大竹まことさんの朗読で紹介
- 11月1日..... WEBサイト「富士ニュース」 富士ハーネスで3家族のバビーウォーカーに盲導犬候補のバビーを預ける委託式を開催したと掲載
- 11月5日..... 広島ニュースTSS他テレビ2局、WEB8件 広島県府中市が大地震時に盲導犬利用者を避難誘導する訓練を市役所で実施と紹介。協会職員参加
- 11月6日..... khb東日本放送「チャージ！」他テレビ2局、新聞1紙、WEB3件、他1件 JR仙台駅で開催した「視覚障害者の安全な鉄道利用のための歩行講習会」を紹介
- 11月24日..... WEBサイト「Yahoo!ニュース」 沼津中央高等学校の医療・福祉コースの生徒が富士ハーネス訪問、手引き体験など実施と掲載
- 12月5日..... RCC中国放送、WEB5件 盲導犬ユーザーの受け入れ拒否を紹介。全国調査の結果、ユーザーの約半数が受け入れ拒否をされたと掲載

\*協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

## 犬と人が心地よく過ごせる環境に 神奈川訓練センターが全面リニューアル

1997年に開設した神奈川訓練センターは、30頭を超える犬たちが暮らす、協会最大の訓練拠点として、犬たちも職員も快適に過ごせる環境づくりを進めてきました。2023年から2年以上にわたる工事を経て増改築が完了し、昨年11月、新たに生まれ変わりました。

改築した新犬舎は、明るく開放的な空間に。1年を通じて快適な温度と湿度が保たれ、犬たちがリラックスして健康に過ごせる環境を実現しました。また、事務所や食堂、共同訓練時の宿泊部屋、トレーニングルームなどを修繕し、より使いやすく整備。新設した医療・繁殖棟の2階にも、新たにトレーニングルームができました。大きく張り出したバルコニーもあって、人も犬も快適に過ごせるスペースを

確保しています。

より良い環境のもと、犬たちも職員ものびのびと訓練をすることで、盲導犬育成に弾みがつきそうです。



◀増改築を完了して、新しく生まれ変わった神奈川訓練センター。正面入り口は、点字ブロックの整備や門の補修もしてスッキリと

## 富士ハーネスから全国の小学校へライブ配信 「全国一斉盲導犬教室」開催

オンライン授業を通じて、子供たちに視覚障害や盲導犬への理解を深めてもらうことを目的とした「全国一斉盲導犬教室」。今年度は9月24、25日と10月15、16日の4日間で全6回開催し、全国199の小学校から12,665人が参加しました。

参加校では、事前学習として協会の子供向けサイト「にちもうジュニア」の動画を視聴。ライブ配信された当日のプロ

グラムは、協会職員による富士ハーネスの施設案内から始まり。次に、盲導犬ユーザーが登場し、盲導犬と歩くようになったきっかけや日常生活のこと、ユーザーと出会ったときにお話ししたいことなどを話しました。後半の質疑応答のコーナーは、今年度から時間を大幅に拡大。「盲導犬の世話で一番難しいことは?」「英語の指示を覚えるのは大変でしたか?」など、子供たちが授業の中で感じた疑問にユーザーが

45分授業の後半約20分間を質疑応答のコーナーに。オンラインでつながった全国の小学校から、子供たちが元気よく質問してくれました

その場で答えることで、対面で行う授業のような一体感が生まれました。

この授業をきっかけに、盲導犬への興味をもってくれた関東地方在住の小学生が、後日、富士ハーネスを見学に訪れました。今後も、より多くの子供たちに盲導犬についての正しい情報を届けられるよう、さまざまな形で取り組んでいきます。



### ●各センター活動報告(10月～12月)

(2025年12月24日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	5回	2回	3回
	バビーレクチャー	26回	10回	0回
	バビーウォーキング修了式	1回	1回	0回
	ユーザーフォローアップ	48回	49回	25回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	17回	12回	6回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー	3回		
	短期リハビリテーション	0回	1回	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	148回(107人)	207回(241人)	27回(23人)
	受け入れセミナー	13回	4回	20回
普及推進活動	小・中学生向け実演	49回	30回	9回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	57回	28回	26回

# 盲導犬や視覚障害の理解促進を目指す

協 会では、視覚障害者が住みやすい街づくりへの協力を求めるため、盲導犬ユーザーが暮らす市区町村の首長を訪問する活動を行っています。昨年10～11月には、3人のユーザーがそれぞれの在住地の首長を協会職員と共に訪ねました。

10月7日、東京都福生市の盲導犬ユーザーが、加藤育男市長を訪問。飲食店で入店を断られたり、スムーズに入店できないことがあるという経験を伝えると、市長は「もっと多くの市民に盲導犬について知ってもらわなければならない」と周知に意欲を示しました。

10月14日は神奈川県伊勢原市へ。信号機が青になった

ことを誘導音で知らせる「音響式信号機」について、設置環境によっては音が聞き取りづらくヒヤリとすることがあるというユーザーの話し、「当事者の声を聞きつつ設置していきたい」と萩原鉄也市長。

11月6日の茨城県牛久市の訪問では、盲導犬の一生やその役割について語るユーザーの言葉に、沼田和利市長は熱心に耳を傾けていました。

自分たちの生活する地域に盲導犬ユーザーがいると認識することは、盲導犬の受け入れや視覚障害の理解促進につながります。これからも、誰もが安心して暮らせる街の実現に向け、行政との連携を深めていきます。



↑福生市で初の盲導犬ユーザー、関章芳さんとエルマー。加藤市長(右)との和やかな懇談の様子は、複数の地元メディアで紹介されました



↓伊勢原市役所を訪問した、今村法子さんとノイ。萩原市長(左)自ら、ユーザーの横を歩いて誘導する手引き体験を行いました



↑牛久市役所を訪問。左から福田進久さんとユニバー、沼田市長、福田佳代神奈川訓練センター長

# 4泊5日の短期視覚障害リハビリテーション開催 さまざまな工夫で、より暮らしやすく

仙 台訓練センターでは、視覚障害者が安全でその人らしい生活を送れるよう支援や訓練を行う「短期視覚障害リハビリテーション」(以下、短期リハ)を2002年から継続してきました。第83回となる短期リハを昨年11月17～21日に開催し、視覚障害者3人が参加。仙台訓練センター内に泊まりながら、白杖やICT機器の使い方など、それぞれが希望する訓練をしました。

参加者は、パソコンの音声読み上げ機能や、スマートフォンで使える拡大鏡や音声ナビなどのアプリを試した

り、音声図書の利用方法を確認したり(写真左)しました。調理実習では、電子レンジや100円ショップの便利グッズも活用。生活の幅を広げる手段がいろいろあることを知る機会となりました。

参加者からは「白杖を持って出歩くことに抵抗感があったが、実際に使ってみて便利さに驚いた。これがあれば1人で出歩けそう」「夜の買い物は諦めていたが、夜間歩行訓練に挑戦して、行けるかもと感じた」といった声が寄せられました。担当職員は「福祉サービスの情報や便利な道具があれば、自身でできることが増え、可能性が広がる。その足掛かりとなれるよう、今後も短期リハを継続したい」と語っています。



↑ICT機器の訓練中。視覚障害者向け音声図書再生機器に実際に触れて操作を体験。好きな本を検索して読んでみるなど、利用のイメージを膨らませます



←参加者全員で白杖の基本的な使い方を訓練。こうした体験を通じて参加者同士のつながりが生まれて「夜にみんなでゲラゲラ笑いながら話して、2か月ぶりに笑った」と交流を喜ぶ声も

# 盲導犬育成を支える ボランティア LIFE

# 家族の絆が深まるディディとの 慌ただしくもかけがえのない日々

富士ハーネス  
パピーウォーカー ● 鈴木さん一家 ● (静岡県富士市)

らすうえで大切にしているのは「なるべくそばにいたいこと」だそうです。「一日中、少しでも離れると寂しがってクンクン鳴くんです。最初の3か月は夜も近くで眠り、2時間おきの夜泣きに対応しながら、人間の赤ちゃんに接するような気持ちで向き合いました」。寝不足でつらいときや対応に悩んだときは、月1回の協会のパピーレクチャーが支えに。「兄弟犬のパピーウォーカーと話す、同じように心配ごとや悩みを抱えていて、自分だけじゃないんだと気持ちが楽になりました。ディディが散歩を怖がりうまできずに困っていた時は、協会の方が、最初は車通りの少ないルートにすることを提案してくださって。少しずついろんな音に慣れながら、今ではどこでも歩けるようになりました。私にとってパピーレクチャーは、安心できる場所ですね」



↑散歩コース沿いのコスモス畑で。左から良恵さん、次男の智大さん、夫の重進さん、長女の英恵さん、長男の晴大さんです。甘えん坊のディディと英恵さんはライバル関係。母・良恵さんを独占したいディディは娘の英恵さんが来るとソワソワするそう

夫がディディをたっぷり甘えさせて寝かしつける。分担を決めたわけではありませんが、日常の中で自然とそれぞれの役割が生まれました。ディディが家族の一員になり責任をもって育てたことは、子供たちが大人になっても記憶に残る貴重な経験だと思います」

節 目に家族写真を撮るという鈴木さん一家。「春に長男が中学校に入学します。その記念にディディと一緒に撮るのが今一番の楽しみです」とインタビューに答える良恵さんは、顔をほころばせます。その後ろでくつろぐディディを包む温かく穏やかな空気は、家族の愛情そのものようでした。

暖 かな日が差し込むリビングでくつろぐのは、パピーのディディ。鈴木さん一家がパピーウォーカーに申し込んだのは「息子が参加するボーイスカウトがきっかけ」と良恵さんは話します。「盲導犬について調べる課題で興味をもち、協会のイベントに参加しました。パピーウォーカーや盲導犬ユーザーの話を実際に聞いて盲導犬の重要な役割を知り、パピーを迎えたい気持ちが高まりました」

デ イディの預かりが決まったのは申し込みから半年もたたない頃で、知らせを聞くと子供たちは大喜び。「今後はパピー中心の生活になることを改めて言い聞かせると「なんでも我慢できる!」と約束してくれました。それからリビングにケージを置いたり、必要な物をそろえたり。協会の方に相談しながら、手探りで準備を進めていきました」

甘 えん坊で寂しがりやでヤキモチ焼きのディディ。一緒に暮



↑子供たちが学校から帰ると、3人が交替でディディとロープの引っ張りっこをします

→「ディディに湖を見せたい!」と家族で行った山中湖。バーベキューや水遊びをしてゆったり過ごしました。冬には雪に触れる旅行を計画しています



※ワン・ツー：排便のこと。排便を促すかけ声でもある



### 仙台訓練センター



**石川 夏緒さん**  
盛岡市(1頭目)  
**ウフル(♂)LR**  
①2025.9.15~10.17  
②小田切 清人さん

グルーミングや排泄させるのに時間がかかっても、ウフルはおとなしく待ってくれる優しい心の持ち主。おかげでお世話にも慣れてきました。通勤では、「ゴー」と声をかけるとスムーズに電車に乗り、空

いている席を教えます。白杖のときは、水たまりに入ると靴下まで濡れてしまうこともありましたが、ウフルは上手に避けてくれます。職場では、「かわいいね」にしっぽを振るウフル。コンサートや泊りがけの旅行などに行くのも楽しみです



**佐藤 長一さん**  
宮城県柴田郡(2頭目)  
**ニーム(♀)LR**  
①2025.9.22~10.3  
②山田 善裕さん

初めての代替\*への不安もなんのその。ニームは「私、失敗しないので」と言わんばかりにお仕事も排泄も100%。歩く歩調もぴったりです。「笑かい者」の私は、ニームと一緒に地区のお年寄りが集まるお茶っこ飲み会に参加して、みんなを笑わせて帰ってきます。福祉講話を続けているので、地域の子供たちは「佐藤のおじさん！」と集まってきました。盲導犬がいることで地域や人との交流も増え、「犬の力かってすごいな」と感じています

### 富士ハーネス



ルースと一緒に日課の散歩や買い物に出かけ、健康的な毎日を送っています。初めての道では、段差で止まらないこともあります。教えるとすぐに覚え、次回はしっかり止まります。電車の乗り降りやドアを教えるのもスムーズで、安心して出かけられます。そんなルースも、家ではやんちゃでいたずらをしたり、かまってほしいとピーピー鳴く甘えん坊。前のパートナー犬とも訪れていた地域の学校での福祉講話に、早速一緒に出かけています

**西 寿一さん** 石川県羽咋郡(3頭目)  
**ルース(♀)LR**  
①2025.9.8~9.19 ②広瀬 信之さん

**山本 恭之さん**  
静岡県賀茂郡(5頭目)  
**マヤ(♀)LR**  
①2025.9.22~10.17  
②吉本 大樹さん

「マヤ！ここが沖縄だよ」。黒ラブの女の子、マヤとのデビューの記念に沖縄に。なんて言っているが、これを書いているのは旅行の10日前。まだまだ排泄の場所や時間に神経質なお嬢様。楽しい南国旅行になるのか？ドタバタになるのか？これまで4頭の盲導犬と歩いてきて初めての女の子。「思春期の女の子は扱いにくいな」なんて鼻の下をのぼしていたりして。60歳過ぎのおじさんと、まだ3歳にもならないお嬢様との珍道中はこれからなのだ

### 島根あさひ訓練センター

**高橋 覚規さん**  
広島県府中市(2頭目)  
**ウリア(♂)LR**  
①2025.9.29~10.9  
②阿部 まなみさん

物おじせず愛想が良く、みんなに可愛がられるウリア。人が大好きで、遊んで！と近寄ろうと思わず声が出てしまうことも。これでやっていけるのか？最初不安もありましたが、歩行時には集中するよう指示を出し、遊ぶときは庭でおもちゃを投げて自由に走らせるなど、ウリアとコミュニケーションを取るうちに少しずつ落ち着いてきました。ダメだよ！と言われてシュンとなる顔もかわいい、賢いやんちゃ君。一緒に飛行機にも乗って、全国を旅したいです

1頭目のシャイン引退と同時にポノとの共同訓練になるはずが、自身の健康状態などもあって少し間が空きました。思いがけなく神奈川訓練センターまで遠征して、訓練を受ける運びとなりました。ポノはシャインより一回り小さいですが、その推進力は力強いものがあります。まだ慣れない



こともあり多少ビクつく素振りもありますが、かわいいことこの上なし。基本の歩きを頭に置きながら、新たな道を一緒に開拓して、気持ち良く楽しい散歩がしたいです

**田部 博也さん** 島根県仁多郡(2頭目)  
**ポノ(♂)LR**  
①2025.10.27~11.7 ②小原 幾世さん

## 市民を対象とした意識調査を実施 視覚障害者への声かけ、半数以上が「抵抗がある」

協会は、昨年8月に全国の男女1,200人を対象とした「盲導犬および視覚障害に関する意識調査」を実施しました。全国規模の意識調査は、盲導犬の受け入れを阻む要因や視覚障害者へのサポート拡大に何が 필요한のかを探ることが目的で、2023年以来2回目の実施となりました。

と回答しました。一方で、「視覚障害者へ声をかけることに抵抗があるか」を問うと、全体の55.5%が「抵抗がある」と回答。「サポートの仕方がわからない」「かえって迷惑になるのではと心配」など、心理的な壁が存在していることが明らかになりました。

盲導犬や視覚障害者に対するイメージやサポートへの意識、身体障害者補助犬法の認知度などについて聞く中で、半数以上の人々が、視覚障害者をサポートしたいと思う一方で行動に移せない現状が明らかになりました。

「困っている視覚障害者に出会ったらサポートしたいか」とサポートへの意識を問うと、全体の75.8%が「サポートしたい」



協会は、視覚障害者にとって周囲の声かけやサポートが大きな安心につながるということを、視覚障害当事者の実体験も交えて伝えることで、声かけへの抵抗感を軽減していきたいと考えています。

詳細はこちら

\*代替：盲導犬の引退により、新たな盲導犬とユニットを組むこと



# 日本盲導犬協会への募金で「PayPay」が利用可能に

このたび「PayPay」によるキャッシュレスでの募金がスタートします。現在、全国で募金用プレートの設置に協力いただける店舗を募集しています。

## 募金用プレート設置店募集!!

協会はこれまでも、「ラブラドル募金箱」や街頭での募金などさまざまな方法で募金にご協力いただけてきましたが、4月から時代に合わせた新しい支援の形として、スマートフォンアプリ「PayPay」を使ったキャッシュレス募金を始めます。近年、「電子マネーでも募金ができたら」という声が多く聞かれるようになり、現金を持たなくても気軽に募金ができる方法を取り入れました。

「PayPay」を利用したキャッシュレス募金は、店頭などでスマートフォンで専用の二次元コードを読み取り、1円から任意の金額を選択して募金を行う仕組みです。協会は現在、この募金に必要な二次元コードが入った協会オリジナルのプレート（写真）を設置していただける、お店や病院、会社、公共施設などを募集しています。プレートは従来の募金箱に比べて設置スペースを取らず、キャッシュレスになることで現金の集金や銀行への振り込みなどの手間が省けるのも特徴です。

盲導犬の育成や視覚障害福祉の向上のために、引き続きみなさまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

## 店舗等のみなさまへ

### 申し込み方法と今後の流れ

・現在、お申し込み用資料請求を受付中

※「PayPay」による事前審査があり、審査により設置できない場合があります。審査の過程や内容についてはお答えできません。

・プレートは4月から随時配布をスタート

資料請求・お問合せ先はこちら



メール: hojin@moudouken.net  
電話: 03-5452-1266 (平日10:00-17:00)  
担当: 東京事務所 渉外部



盲導犬育成募金  
PayPayで募金ができます



見本

→協会のオリジナルプレートは、子犬の写真が目印。店頭などでもばつと目をひきます



お預かりした募金は盲導犬育成等に送って視覚障害者の自立と社会参加推進に大切に活用させていただきます。\*この募金での「協賛者」「賛助者」の扱いや方法は協会のホームページをご覧ください。



無理なく、続けられる  
私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。



株式会社 ナチュラルプラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F  
TEL 0120-989-329 FAX 03-6679-2494 URL www.naturally-plus.com



株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ  
http://www.intage.co.jp/ キューモニター募集  
https://www.cue-monitor.jp/

わかさ生活は盲導犬の育成を応援しています



# 生まれました



2025.10/2 誕生

オス 7頭  
メス 3頭  
父犬グレッグ(LR) ×  
母犬テン(LR)



2025.11/12 誕生

オス 4頭  
メス 4頭  
父犬ワトソン(LR)※1 ×  
母犬ボム(LR)

# みなさんに 支えられて

9月11日～12月10日

犬種記号  
LR/ラブラドル・レトリバー  
GR/ゴールデン・レトリバー



2025.11/25 誕生

オス 1頭  
メス 5頭  
父犬ユーボー (LR) ×  
母犬ユスカ(LR)

# 委託しました

父犬ヴァルニー (GR) × 母犬ティアナ (GR) ※1	父犬グレッグ (LR) × 母犬テン (LR)
ジュール♀ 齊藤 孝義さん	ニール♂ 佐々木原 亮さん
父犬コール (LR) ※2 × 母犬サラ (LR)	ニュートン♂ 稲垣 法子さん
ルーナ♀ 野口 由紀さん	ネム♀ 木内 勇さん
レナ♀ 丹羽 啓子さん	ネイト♂ 益子 紗梨さん
リリー♀ 畑中 ハーカンさん	ナラ♀ 石黒 雅彦さん
父犬ハルク (LR) ※2 × 母犬ノア (LR)	ノヴァ♂ 林 洋光さん
モニカ♀ タマス 悦子さん	ノエル♂ 齊藤 和子さん
マル♂ 佐藤 祐子さん	ニコ♂ 張 潔さん
マツリ♀ 吉田 貴彦さん	ナグ♂ 赤杉 卓磨さん
父犬バーク (LR) × 母犬バイレット (LR) ※3	ニー♀ 柴田 美樹さん
クッカ♀ 高木 恵さん	

# 引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
オルフ♂	佐藤 長一さん	外山 晃正さん	2025.9.22
トリトン♂	櫻井 洋子さん	望月 朋子さん	2025.9.22
エーデル♂	本田 武さん	調整中	2025.9.26
ケーラ♀	蛭田 友子さん	中垣 直之さん	2025.9.29
トトワ♂	鹿嶋 明さん	飯野 悦光さん	2025.10.2
ミーナ♀	野上 由美子さん	川嶋 和代さん	2025.11.3
グミ♀	佐藤 智江子さん	調整中	2025.11.8
オーク♂	椎 カヨ子さん	調整中	2025.11.12
ディブシー♂	田名部 功さん	神田 麻美さん	2025.11.17
ルイス♂	小島 利一さん	調整中	2025.11.17
マーニー♀	酒井 理絵さん	調整中	2025.11.26
ゴマ♂	橋井 利江さん	調整中	2025.11.29
ロキシ♂	森川 加奈子さん	矢野 直明さん	2025.12.5

# 亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
ウィリー♀	繁殖引退犬	中嶋 朱美さん	2025.9.18
ウイング♂	長谷川 律夫さん 長谷川 重子さん	遠藤 博さん	2025.9.18
サチ♀	繁殖引退犬	町田 俊晴さん	2025.9.20
ジャスミン♀	小林 未佳さん	中村 純也さん	2025.10.11
ヴァン♂	安藤 修二さん	関谷 政友さん	2025.10.12
テミス♀	穂刈 顕一さん	穂刈 明子さん	2025.10.13
ノヘア♂	岩崎 嵩さん	佐藤 哲章さん	2025.10.23
ベイク♂	亀田 秀耶さん	湯澤 雅美さん	2025.11.1
シュール♀	安藤 藤男さん	岡部 こゆきさん	2025.11.6
ノック♂	鹿嶋 明さん	杉田 久記さん	2025.11.7
マルク♂	高橋 徹さん	齊藤 由美さん	2025.11.15
ワグリ♀	末松 まい子さん	東村 明人さん	2025.11.17
ウェナ♀	石川 登志子さん	菅谷 康子さん	2025.11.22
ジュン♀	松田 好弘さん	松田 亘さん	2025.11.26
イーリィ♀	繁殖引退犬	宮崎 幸一郎さん	2025.12.10

# 盲導犬育成状況

合計頭数...688頭(2025年12月24日現在)

委託前パピー	13頭	繁殖犬	43頭
パピー	88頭	PR犬	11頭
訓練犬	67頭	引退犬	187頭
盲導犬	216頭	繁殖引退犬	63頭

みなさんと協会をつなぐ

## ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します

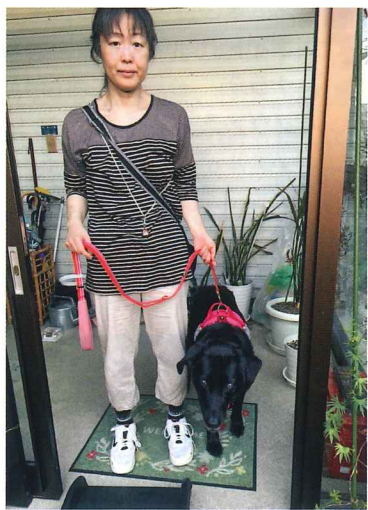
**+** キャリアチェンジ犬飼育ボランティアとしてユーロを迎えて10年が過ぎました。去年はユーロにとって試練の年でした。靱帯断裂で右足を手術。見えなくなっていた左目に続き、右目も見えなくなりました。怖がって玄関も出られず、医者へ連れていくのは抱っこでした。

少しずつ外に出すも、小さな段差につまずき、しっぽを丸めてぶるぶる震えて道の端で固まっていました。そんな時、偶然ユーロの友達の犬に会いました。友達犬は相変わらずの明るさでユーロと挨拶し、一緒に行こうよ！とばかり先に歩きだしました。ユーロの足にも力が入り、大好きな広場まで一緒に歩きました。

今では、2 cmほどの段差があれば「アップ/ダウン」と声をかけて歩きます。縁石や5 cm以上の段差では、少し前で「ストップ」してから「アップ/ダウン」。他に「レフト/ライト」も覚えてくれて、かけ声とともに散歩を楽しむようになりました。「

ゴー！ストレート！（まっすぐだよ）」は犬と家族の歩行の合言葉です。家族一の高額医療犬になりましたが、ご機嫌でしっぽをブンブン振る姿が何よりの励みです。人犬6脚！新しい「ゴー！ストレート！」生活を楽しまたいと思います。

山形県東根市  
M・Mさんより



『盲導犬くらぶ』の感想やご意見をお待ちしております。

## ●あて先

公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室  
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F  
e-mail: info@moudouken.net

東京事務所が以下の住所へ移転します。

新事務所での業務開始は2026年2月24日を予定しています。

新住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3丁目30-16 ホリゾンワンビル5階

**-** 一般社団法人盲導犬総合支援センターで、盲導犬専用コートを作る縫製ボランティア※をしています。これまでに作ってきた犬用コートの余り布を使って、犬用のステイマットを作りました。盲導犬の理解促進のイベントで、PR犬などに使ってください。どの生地にも思い出が詰まっています、見返すとほっこりします。

神奈川県 内山紘子さんより

※現在、縫製ボランティアの募集は行われておりません



↑真ん中に書かれている「JGDA」は、日本盲導犬協会の英語表記「Japan Guide Dog Association」の略です

## 編集室より

盲導犬の育成は、ボランティアのみなさんに支えられています。協会では、犬の飼育ボランティアを大募集中です。ぜひご協力ください。

## ●パピーウォーカー：

盲導犬候補の子犬を約10か月間飼育します。月1回訓練センターでのパピーレクチャーに参加して、犬との関わり方を学びます

## ●繁殖犬飼育ボランティア：

盲導犬の親犬を飼育し、繁殖の時期などに協会に連れていく役割があります

## ●キャリアチェンジ犬飼育ボランティア：

盲導犬にならなかった犬を引き取って、家庭犬として飼育します

詳細は  
こちら



動画  
「ボランティアについて  
教えて！」

